

これからの自治体文化政策

— 市民・都市・経済を考える —

目次

第1回 なぜ、いま文化政策か 01

文化の価値とは何か 01
人権としての文化 01

文化の所得、身体的・知的個性にかかわる平等性 03
地域の軸と歴史の軸 05

自治事務としての文化行政 06

なぜ文化行政に条例と基本計画が必要か 09

自治体の市民文化政策 10

文化行政の三つの資源 13

文化施設の公共性 14

文化芸術基本法の内容を理解する 15

劇場・音楽堂活性化法の内容を理解する 19

ふたたび文化施設の公共性と人権としての文化 22

受講者との問答 23

第2回 文化のまちづくりとその担い手を考える 32

文化政策は担い手づくりから 32

都市文化政策の三つの段階 33

クリエイティブ・シティ、観光都市の条件 35

文化経済学から都市文化政策を考える 36

文化（集団が有する価値の体系）の基本構造から考える 40

文化経済学から公共文化施設経営の理念を考える 41

文化施設が追求すべき二つの価値 42

社会資本形成のための文化政策 43

受講者との問答 44

第3回 文化政策をめぐる諸問題と論点の明確化 49

ニュー・パブリック・マネジメントの嵐 49

NPM、とくに指定管理者制度に見る民営化志向 50

指定管理者制度と選定基準 53

日本型アーツカウンシルのあり方 54

おわりに 57

受講者との問答 58

資料

文化芸術基本法 63

世界人権宣言・国際人権規約（抄録） 72

レジュメ 第一回〜第三回 82〜75

参考文献 83

著者プロフィール 84